

# 企画書記載例

様式第1号（第6条関係）

令和4年 4月〇〇日

阿波市元気なまちづくり活動支援事業企画書

阿波市長 様

提出日を記入してください。  
※受付期間内の日付になります。  
令和4年4月1日～令和4年4月28日

・正式名称を記載すること。  
・所在地・団体名が規約（会則）と一致しているか確認してください。

所在地（〒771-1695）

阿波市市場町切幡字古田201番地1

団体名 □□□□□□

代表者氏名 ○○ ○○ 印

（事務局：○○ ○○ 0883-36-8701）

電話番号 0883-36-8700

このことについて、阿波市元気なまちづくり活動支援事業に次のとおり関係書類を添付して企画提案します。

## 1. 団体の概要

規約（会則）に記載のある場合は、一致していることを確認してください。

団体の設立年月日	元号〇〇年 〇〇月 〇〇日
団体の構成員数	10人（うち阿波市民 8人）
活動の拠点	阿波市市場町切幡地区
団体の設立目的及び主な活動内容	<p>目的 地域の課題解決及び活性化のため、会員相互に話し合い、協力しながら、持続可能なまちづくりを目指すことを目的として設立しました。</p> <p>活動内容（規約参照）</p> <ol style="list-style-type: none"><li>世代間交流イベントの実施</li><li>地域の環境保全活動</li><li>その他目的達成に必要な事業</li></ol>

団体構成員名簿の人数と一致します。

規約（会則）に記載の目的・活動内容をふまえて、簡潔に記載してください。

## 2. 添付資料

[必須]

- ・まちづくり団体事業計画書（別紙1）
- ・まちづくり団体の規約、会則等
- ・まちづくり団体の構成員名簿（阿波市民が過半数を占めることが分かるもの）
- ・過去1年間の活動実績を証明するもの（団体の総会資料等）

(別紙1)

まちづくり団体事業計画書

1. 事業概要

事業名称	地域コミュニティの醸成事業
背景・目的	地域の少子高齢化がすすみ、住民同士の関係が希薄になりつつあったことから、地域の課題解決及び活性化のため、会員相互に話し合い、協力しながら、持続可能なまちづくりを目指すことを目的として設立しました。
事業内容	規約に基づく次の活動 1 世代間交流イベントの実施 2 地域の環境保全活動 3 その他目的達成に必要な事業
総事業費	100,260 円
事業実施期間	令和4年4月1日 ~ 令和5年3月31日

募集要領の補助対象事業の中から選んで記入して下さい。

- ・公園等美化活動事業
- ・地域コミュニティの醸成事業
- ・まちづくりスタート支援事業
- ・まちづくりステップアップ支援事業
- ・協働のまちづくり活動支援事業

規約（会則）に記載の目的・活動内容をふまえて、簡潔に記載して下さい。

- ・一年度間の予算総額を記入して下さい。
- ・団体収支予算書の「収入合計」及び「支出合計」と同額になります。

補助対象期間内であること。

2. 事業実施スケジュール

年 月	実施内容
令和4年4月	総会
令和4年4月 ～令和5年3月	環境保全活動 ・世代間交流イベント会場の花壇植え替え、除草作業
令和4年5月 ～令和4年12月	世代間交流イベントに向けた準備・役員会
令和4年8月	世代間交流イベント（夏） ・親子郷土料理教室 ・昔話の読み聞かせ会
令和4年12月	まちづくり団体研修会参加
令和4年12月	世代間交流イベント（冬） ・親子伝統行事講習会
令和5年3月	役員会

- ・実施予定事業の時期、内容を簡潔に記載して下さい。
- ・総会資料や規約（会則）に記載の活動内容に沿う内容であるか確認して下さい。

参考：補助見込み額（上限額）の考え方 <記載例団体の場合>

- ・【総事業費】100,260円－【対象外経費】5,000円＝【補助対象経費】95,260円
  - ・【補助対象経費】95,260円×【補助率】4/5＝76,208円※
- ※地域コミュニティの醸成事業補助限度額に基づき補助見込み額（上限額）は50,000円

3. まちづくり団体収支予算書

※最上段に記載※  
補助金見込み額は、一番上に記載してください。

収入の部 (単位：円)

項目	予算額	備考(積算根拠)
阿波市元気なまちづくり活動支援事業補助金(見込み)	50,000	
会費	15,000	1,500円×10人
イベント参加費	10,000	親子郷土料理教室参加料 500円×20人
活動賛助金	25,000	〇〇より賛助金
前年度繰越金	260	
計	100,260	

※必須事項※  
補助金見込み額は、募集要領を確認して記入してください。

・前年度からの繰越金がある場合、収入の部に記載すること。  
・前年度決算書類と合致すること。

事業計画書の「総事業費」及び収支予算書の「支出の部」合計額と一致します。

支出の部 (単位：円)

項目	予算額	備考(積算根拠)
消耗品費	30,260	事務用品、花苗・花壇の土等
原材料費	12,000	イベント材料費
印刷製本費	38,000	イベント用チラシ印刷代
食糧費	5,000	イベント時会員弁当代 500円×10人 対象外経費
通信運搬費	5,000	切手代、送料等
保険料	5,000	イベント保険料
使用料及び賃借料	5,000	親子郷土料理教室会場使用料
次年度繰越金	0	
計	100,260	

対象外経費は、備考欄に記入してください。

事業計画書の「総事業費」及び収支予算書の「収入の部」合計額と一致します。

収入合計 100,260 円  
支出合計 100,260 円  
差引金額 0 円

差引金額は必ず0円になります。  
【収入合計】－【支出合計】＝【差引金額】

